

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- ☆私たちは不祥事を絶対起こさず・起こさせません。
- 1 私たちは、明るく・意欲的に日々の職務に努めます。
 - 2 私たちは協力し、チームとして不祥事の根絶に努めます。

東広島市立御藪宇小学校
校長 石川 真紀

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
組織的な不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○情報共有を迅速に行い、組織的に対応する。 ○服務研修において自分事としてとらえる研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年主任会を定期的に行い、主任層を中心とした組織的な情報共有と対応策を検討する。共有された情報をもとに迅速に組織的な対応を行う。 ○職員同士が気持ちのよい挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見に努める情報共有の場として主任を中心とした組織体制を確立する。 ○部長がリーダー性を発揮し、情報を収集し、発信するシステムを構築する。 ○服務研修の場において、振り返りの場を設ける。 ○AEDの使い方と不適切な指導の防止を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三部会、学年主任会、企画委員会等において、実施体制を確認（月1回程度） ○服務研修、不祥事防止委員会、学校衛生委員会で点検（月1回）、日々の校内巡視
業務改善への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○経験年数5年未満の教職員の割合が高く（約1/3）、教職員個人の技量を一層高める必要がある。見通しをもったスケジュール管理・物品管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マナーや対応について、具体的な技能の向上に努める。 ○部長を中心に適切な役割分担を行い、計画的に早めの提案を行う。 ○学年主任を中心に退校時刻を意識した協力した職務を遂行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型・参加型の服務研修を計画的に実施する。 ○行事ごとに反省、改善を行い、次の提案に生かす。 ○管理職、主任を中心に、退校時刻の声掛けに努める。学年部で互いに声を掛け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修に欠席した場合は、資料を基に研修票を記入し、確認をする。（随時） ○入退校記録の点検と課題の把握（月末）
組 適正管理の取	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の適正管理についての意識を更に高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報を取り扱っているという自覚を常にもち、整理整頓、持ち出し簿へ記載を確実にを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○持ち出し簿に正確に記入し、翌勤務日に返却する。 ○パソコンでのデータ管理を適正に行うとともに、職員室や教室の整理整頓について職員間で声をかけ合い、机上整理を行ってから退校する習慣をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○記録簿の保管・点検（学期毎）